

## 令和5（2023）年度 （地理歴史科） 教育指導計画

### （1）科目の配当・分担表

（必修 ◎，選択必修 ○，選択 △） （講師：\*）

学 年	科 目 名	必修・選択	単位数	クラス数	時数	担当者名
I	地理総合	◎	1	4	4	大満 秀一朗
I	歴史総合	◎	1	4	4	正垣 裕介
II	地理総合	◎	2	4	4	大満 秀一朗
III	歴史総合	◎	2	4	4	笹川 裕史
III	地理B	△	4	2	8	大満 秀一朗
III	世界史B	△	4	2	8	笹川 裕史
III	日本史B	△	4	2	8	正垣 裕介

(2) 指導計画表

科目名：歴史総合	学年：第Ⅰ学年	単位数：1	担当者名：正垣 裕介
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マクロな、グローバル＝ヒストリーの観点から、近代の歴史を概観して理解させる。</li> <li>・ミクロな、生活史の観点から歴史を体験する方法を身につけさせる。</li> <li>・モノの動きをとおして、マクロとミクロの歴史をつないで理解させる。</li> <li>・現代と比較しながら、自らの生活や社会の在り方の変化を考察できる思考力を養う。</li> <li>・変化の視点として「近代化」「国際秩序の変化と大衆化」「グローバル化」に注目し、歴史的な見方と方法論に基づいて考察したことがらを表現できる力を養う。</li> <li>・日本の近現代史を、世界史の観点から位置づけ理解したうえで、いま・ここに生きている自分と社会について考察する視点を身につけさせる。</li> </ul> <p>2. 評価観点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本的な歴史事項と歴史事象の知識を理解できているか。</li> <li>(2) 基本的な史料とデータに基づいて、論理的に思考し説明することができるか。</li> <li>(3) 歴史的テーマについて、現代的な課題に引き付けて考察し、表現することができるか。</li> </ol> <p>3. 指導方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講義形式を主とする。</li> <li>(2) 授業ポートフォリオの作成。</li> <li>(3) 少人数でのディスカッション。</li> <li>(4) 主題に応じたエッセイやレポートの作成。</li> </ol>		<p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>定期考査を利用し、基本的な知識の獲得について基準に達しているか評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>定期考査や課題提出において、限られた字数の中で歴史的観点から論理的な論述ができているかを評価する。ポートフォリオとして用意した「学習の記録」用紙を評価する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜課すレポートで、現代的な主題に引き付けて歴史的な事象を解釈できているかを評価する。</li> <li>・授業への参加姿勢とフィードバックができているかを「学習の記録」で評価する。</li> <li>・ディスカッションへの参加とフィードバックワークシートを評価する。</li> <li>・授業に取り組む姿勢や出欠状況を考慮する</li> </ul> <p>5. 年間計画</p> <p>(1学期)</p> <p>日本と世界の近代化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. アジアの近代と江戸時代／明治維新</li> <li>b. 欧米諸国における近代化</li> <li>c. アジア・アメリカに向かうヨーロッパ</li> </ol> <p>(2学期)</p> <p>近代化の進展と国民国家の形成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. ヨーロッパにおける国民国家形成</li> <li>b. アメリカにおける国民国家形成</li> <li>c. 帝国主義とアジア・アフリカ</li> <li>d. 日本の開国と国民国家形成</li> </ol> <p>(3学期)</p> <p>世界史におけるアジアと日本の近代化</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a. アジア諸国における西洋の衝撃と植民地</li> <li>b. 明治と国民国家の形成と展開</li> <li>c. 戦争と東アジアの近代 (アヘン戦争／日清戦争／日露戦争)</li> </ol>	
<p>使用教科書</p> <p>帝国書院『明解 歴史総合』</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>とくになし</p> <p>自作ワークシート</p>			

(2) 指導計画表

科目名： 地理B	学年：第Ⅲ学年	単位数：4	担当者名：大満 秀一郎
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて考察し，現代世界の地理的認識を養わせる。</p> <p>(2) 地理的な見方や考え方を培い，持続可能な社会の実現に向けた国際協力や日本の取り組みについて考察する。</p> <p>(3) 写真・映像を通して，地理的課題について，自分の考えをまとめ表現できるように取り組ませる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>(1) 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し，現代世界の地理的認識や地理の見方・考え方に関する関心を高めたか。</p> <p>(2) 現代社会の地理的事象から課題を見出し，それを系統鶴的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断しようとしたか。</p> <p>(3) 地図や統計・画像などの地域に関する諸資料を活用し，地理情報や地図の活用に関する技能を身につけたか。</p> <p>(4) 現代社会の諸事象を系統地理的に考察する方法と現代世界の諸地域を地誌的に考察する方法を理解し，身につけたか。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。</p> <p>(3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。</p> <p>(4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。</p> <p>4. 評価方法</p> <p><b>【知識・技能】</b> 定期考査や小テストを通じて，基本的地理的知識の習得ができているか確認する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 現代的な地理的問題に対して，レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。</p>		<p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期)</p> <p>世界の農林水産業 食糧問題 世界のエネルギー・鉱産資源 世界の工業</p> <p>(2 学期)</p> <p>第3次産業 世界の交通・通信 世界の衣食住 民族と宗教 民族・領土問題 現代世界の貿易と経済圏</p> <p>(3 学期)</p> <p>現代世界の地誌的考察</p>	
使用教科書： 新詳地理B (帝国書院) 新詳 高等地図 (帝国書院) 副教材・テキスト等 新詳地理資料COMPLETE2021 (帝国書院) データブックオブザワールド2022 (二宮書店) 自作プリント・スライド			

(2) 指導計画表

科目名：歴史総合	学年：第Ⅱ学年	単位数：1	担当者名：笹川 裕史
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近現代の諸地域の様相を、グローバル＝ヒストリーの観点から理解させる。</li><li>・ジェンダーの視点から歴史を見る目を養う。</li></ul> <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近現代の諸地域の様相を、国際理解という観点から理解できているかを見る。</li><li>・歴史的事象を図版や資料（資料）を通して理解できているかを見る。</li></ul> <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業プリント・パネルなどの図像・実物教材などを利用する。また授業感想等を書かせて授業の内容を教科通信という形でフィードバックする。</li></ul> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・定期考査の基本問題</li></ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ワークシートやレポート課題の記述内容</li><li>・定期考査の応用問題</li></ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・提出物・出席状況や授業態度等</li></ul>	<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期前半・・・帝国主義 (教育実習生の授業あり)</p> <p>1 学期後半・・・第一次世界大戦～ロシア革命 〈1 学 期 考 査〉</p> <p>2 学期前半・・・戦間期のアジアとヨーロッパ 〈特別時間割期間の「レポート課題」〉</p> <p>2 学期後半・・・1930 年代～第二次世界大戦 〈2 学 期 考 査〉</p> <p>3 学期・・・戦後世界 〈課題図書レポート〉 〈3 学 期 考 査〉</p>		
使用教科書： 帝国書院『明解 歴史総合』			
副教材・テキスト等 とくになし			

(2) 指導計画表

科目名： 地理総合	学年：第Ⅱ学年	単位数：1	担当者名：大満 秀一郎
<p>1. 指導目標</p> <p>1. 現代世界の地理的認識を深めさせる。</p> <p>2. 系統地理的、地誌的な探求の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>3. 現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養わせる</p> <p>4. GIS ソフトなどを活用して、空間的地理の認知能力を高めさせる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置を分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。【思考・判断・表現】</p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>		<p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。</p> <p>(3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。</p> <p>(4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。</p> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <p>定期考査や小テストを通じて、基本的地理的知識の習得ができてきているか確認する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>現代的な地理的問題に対して、レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>レポート課題、討論・発表、学習の振り返り、出席状況、ノート提出 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期)</p> <p>世界の地形と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形</li> </ul> <p>世界の気候と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア圏の生活と文化</li> <li>・ヨーロッパ圏の生活と文化</li> </ul> <p>(2 学期)</p> <p>地球的課題と国際協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・エネルギーの問題</li> <li>・人口問題</li> <li>・食料問題</li> </ul> <p>(3 学期)</p> <p>地球的課題と国際協力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市・居住問題</li> </ul> <p>生活圏の調査と地域の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活圏の調査と地域の展望</li> </ul>	
<p>使用教科書：</p> <p>高等学校 新地理総合 (帝国書院)</p> <p>新詳 高等地図 (帝国書院)</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>新詳地理資料COMPLETE2022 (帝国書院)</p> <p>自作プリント・スライド</p>			

(2) 指導計画表

科目名：世界史B	学年：第Ⅲ学年	単位数：4	担当者名：笹川 裕史
<p>1. 指導目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>各時代の諸地域を理解する際に、現代社会と関連づける。</li><li>各時代の諸地域の様相を、異文化理解という観点から理解させる。</li></ul> <p>2. 評価観点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>各時代の諸地域に関する基本的事象が理解できているかを見る。</li><li>歴史的な事象を図版や資料（資料）を通して理解できているかを見る。</li></ul> <p>3. 指導方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>授業プリント・パネルなどの図像・実物教材などを利用する。また授業感想等を書かせて授業の内容をフィードバックさせる。</li></ul> <p>4. 評価方法</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>定期考査の基本問題</li></ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>ワークシートの記述内容</li><li>定期考査の応用問題</li></ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>提出物・出席状況や授業態度等</li></ul>	<p>5. 年間計画</p> <p>1 学期前半・・・古代オリエント～ギリシア・ローマ</p> <p>1 学期後半・・・古代中国～明清時代</p> <p>＜1 学 期 考 査＞</p> <p>2 学期前半・・・中世ヨーロッパ世界</p> <p>2 学期後半・・・初期近代～近代の世界</p> <p>＜2 学 期 考 査＞</p> <p>3 学期・・・戦後史</p> <p>・スーパーサタディ、および補充授業</p> <p>（1 学期）古代南アジア世界 イスラーム世界</p> <p>（2 学期）未定</p>		
<p>使用教科書： 帝国書院『新詳 世界史B』 副教材・テキスト等 帝国書院 『最新世界史図説 タペストリー 20訂版』</p>			

(2) 指導計画表

科目名： 日本史B	学年：第Ⅲ学年	単位数：4	担当者名：正垣 裕介
<p>1. 指導目標</p> <p>(1) 具体的な資料・史料を読み解きながら基本的な歴史的知識を習得し、さらに歴史的事象を概念化することで、歴史の大きな流れと時代の転換点を把握できるようにする。</p> <p>(2) さまざまな国や地域の人々との交流の中で成立した日本の社会・文化を学習し、世界史の中の日本について認識することで、歴史的問いを発見し、現代的な問いに結び付けて理解できるようにする。</p> <p>(3) 歴史的思考力を養うための方法論を身に付け、歴史学的手続き論理に基づいて時代を解釈し、概念化できるようにする。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>(1) 基本的な歴史事項と歴史事象の知識を理解できているか。</p> <p>(2) 基本的な史料とデータに基づいて、論理的に思考し説明することができるか。</p> <p>(3) 歴史的テーマについて、自ら概念化して考察し、表現することができるか。</p> <p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 主題に応じたレポートを作成させる。</p> <p>(3) 歴史的知識と思考方法に基づいた論述の指導。</p> <p>4. 評価方法</p> <p><b>【知識・技能】</b> 定期考査を利用して、基本的な知識の習得と史料の読み取りの技能について基準に達しているかを評価する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> 定期考査や課題提出において、限られた字数の中で歴史的観点から論理的な論述ができているかを評価する。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・適宜課外レポートで、自ら歴史的問いを設定し、歴史的事象を解釈できているかを評価する。</li><li>・授業に取り組む姿勢や出欠・遅刻状況を考慮する。</li></ul>		<p>5. 年間計画</p> <p>(1学期)原始・古代</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 日本文化のあけぼの</li><li>2. 水稲農業の開始と社会生活の進展</li><li>3. 東アジア文化の影響と律令制度の成立</li><li>4. 摂関政治と国風文化</li></ol> <p>(2学期)中世－近世</p> <ol style="list-style-type: none"><li>5. 中世社会の成立と文化の新機運</li><li>6. 武家社会の展開と室町文化</li><li>7. 幕藩体制の展開と近世の文化</li></ol> <p>(3学期)</p> <ol style="list-style-type: none"><li>8. 幕藩体制の動揺と文化の成熟</li></ol> <p>主題学習</p> <p>A. 日本史と地域史</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 大阪からみた歴史</li><li>2. 地理的環境と歴史</li></ol> <p>B. テーマ学習による歴史事象の概念化</p> <p>C. 歴史の解釈・説明・論述の方法</p>	
使用教科書： 日本史B（実教出版） 副教材・テキスト等 日本史のライブラリー（とうほう） ワークシート（自作プリント）			

(2) 指導計画表

科目名： 地理総合	学年：第 I 学年	単位数：1	担当者名：大満 秀一郎
<p>1. 指導目標</p> <p>1. 現代世界の地理的認識を深めさせる。</p> <p>2. 系統地理的、地誌的な探求の方法を学習し、地理的な見方や考え方など地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>3. 現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養わせる</p> <p>4. GIS ソフトなどを活用して、空間的地理の認知能力を高めさせる。</p> <p>2. 評価観点</p> <p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置を分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。<b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めている。<b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p>		<p>3. 指導方法</p> <p>(1) 講義形式を主とする。</p> <p>(2) 地理的テーマに応じたコメントペーパーを作成する。</p> <p>(3) 小テストを用いて地理的事象の確認を行う。</p> <p>(4) 地理的事象を地図化するためオンラインGISを活用して地図の作成・分析・考察を行う。</p> <p>4. 評価方法</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <p>定期考査や小テストを通じて、基本的地理的知識の習得ができているか確認する。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <p>現代的な地理的問題に対して、レポートやGISソフトを活用した地図化などにより地理的課題に気付かせる。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <p>レポート課題、討論・発表、学習の振り返り、出席状況、ノート提出 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。</p> <p>5. 年間計画</p> <p>(1 学期)</p> <p>地図と地理情報システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の位置</li> </ul> <p>結び付きを深める現代世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代世界の国家と領域</li> <li>・グローバル化が進む世界</li> </ul> <p>(2 学期)</p> <p>世界の地形と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形</li> </ul> <p>世界の気候と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候</li> </ul> <p>(3 学期)</p> <p>世界の気候と人々の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア圏の生活と文化</li> <li>・ヨーロッパ圏の生活と文化</li> </ul>	
<p>使用教科書：</p> <p>高等学校 新地理総合 (帝国書院)</p> <p>新詳 高等地図 (帝国書院)</p> <p>副教材・テキスト等</p> <p>新詳地理資料COMPLETE2023 (帝国書院)</p> <p>自作プリント・スライド</p>			